

第89期 定時株主総会

2024年6月26日

会場内の撮影・録音はご遠慮願います。

議長

代表取締役社長
布原 達也

議決権総数

382,949個

監査報告

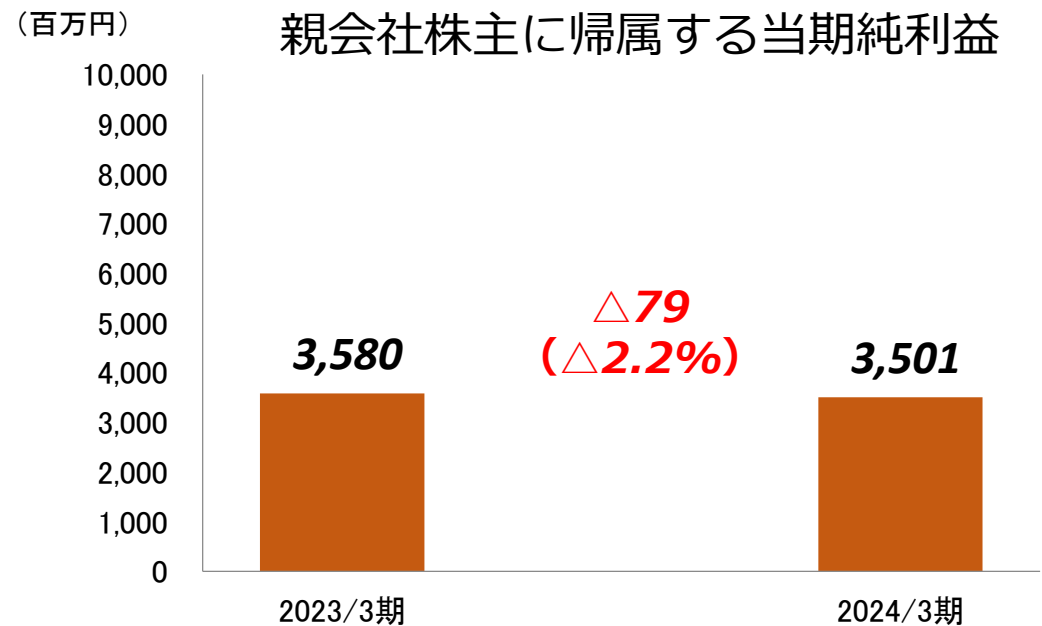
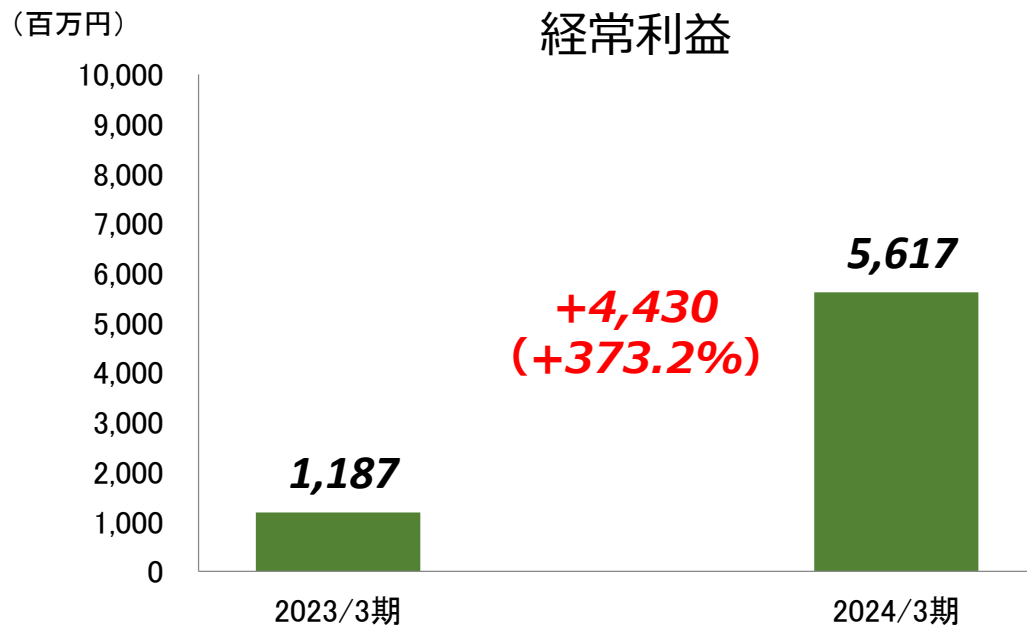
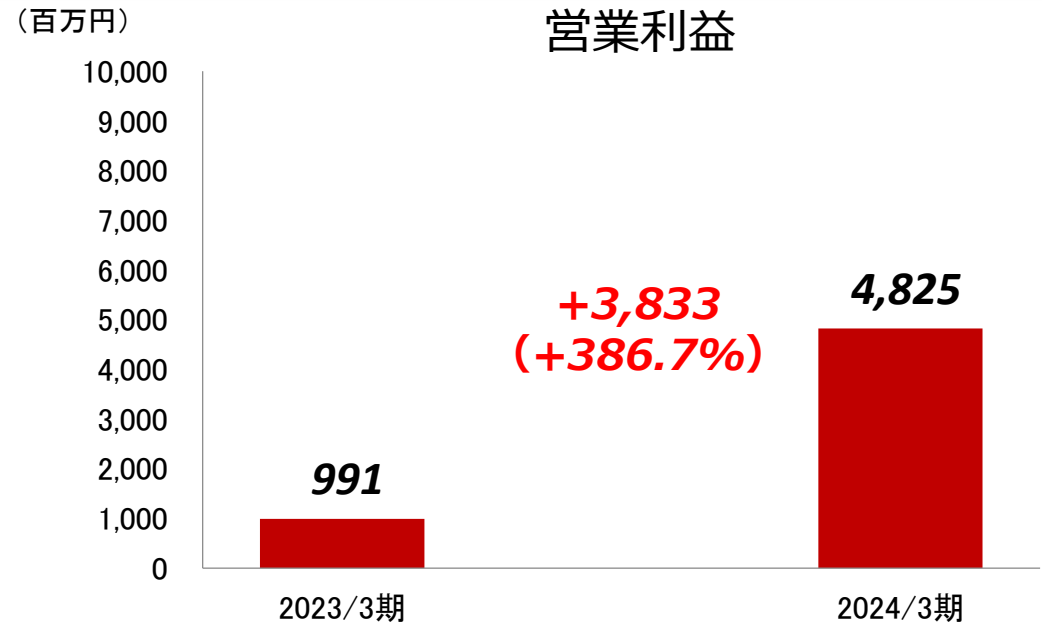
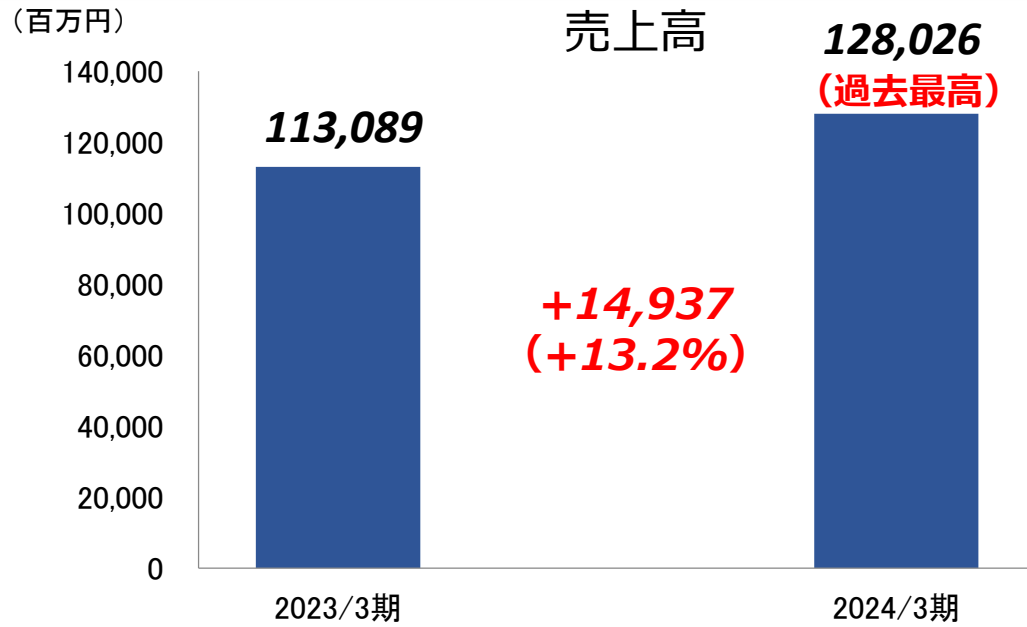
招集通知 35～40ページ

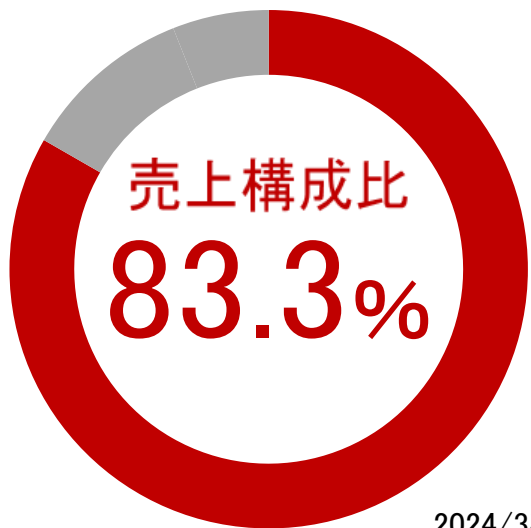
第89期 事業報告

招集通知 7～27ページ



第89期 連結経営成績





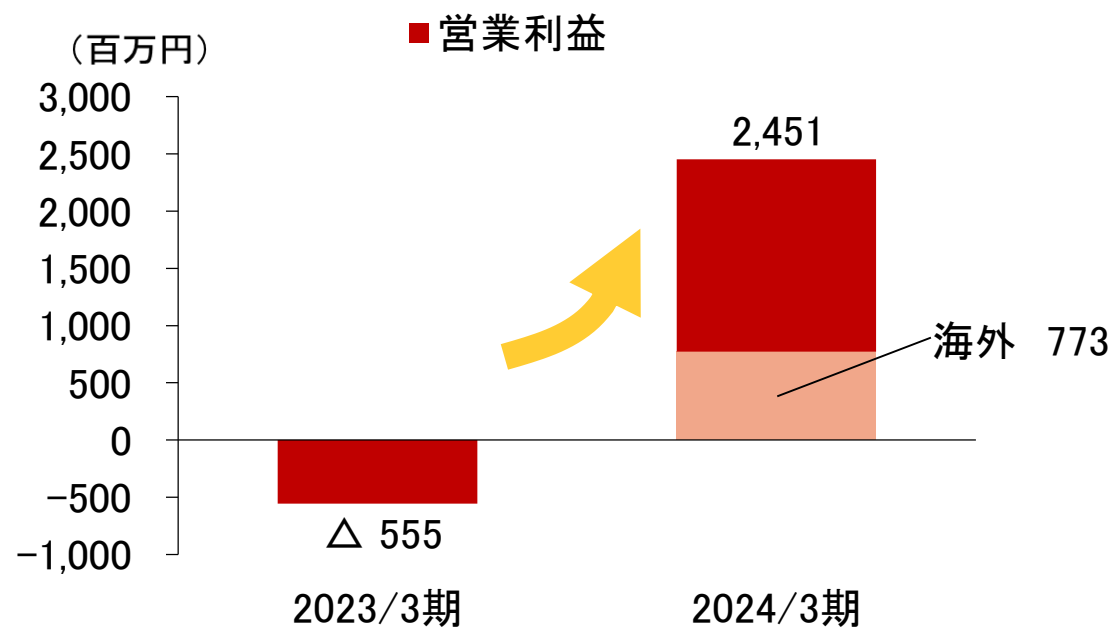
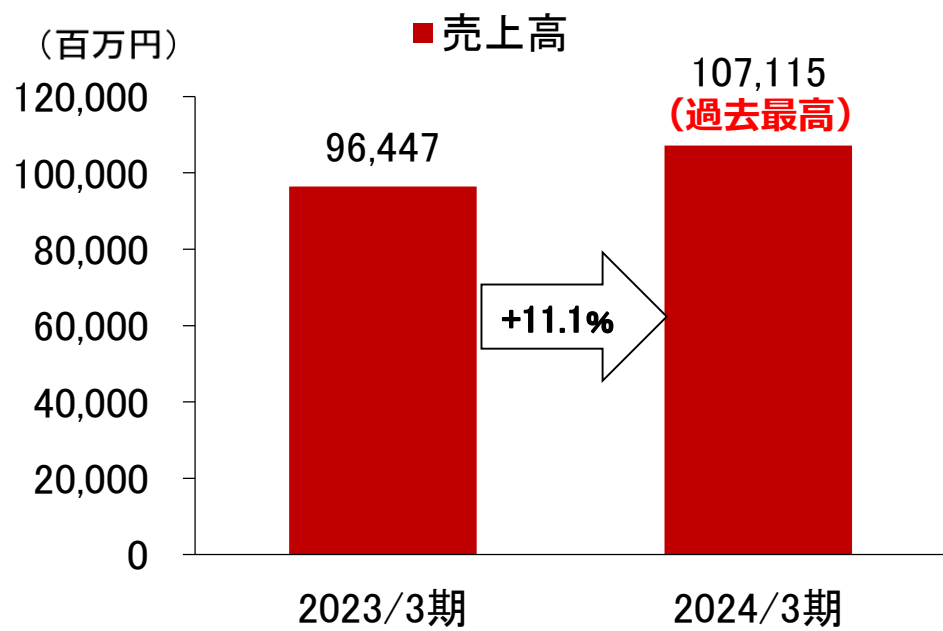
2024/3期 通期

売上高 (+11.1%)

- ↑ 半導体不足等に伴う国内トラックシャシの供給制限が改善
- ↑ 国内・海外(インド、インドネシア)が引き続き好調
- ↓ 一部、トラック部品の調達遅延等による影響を受ける

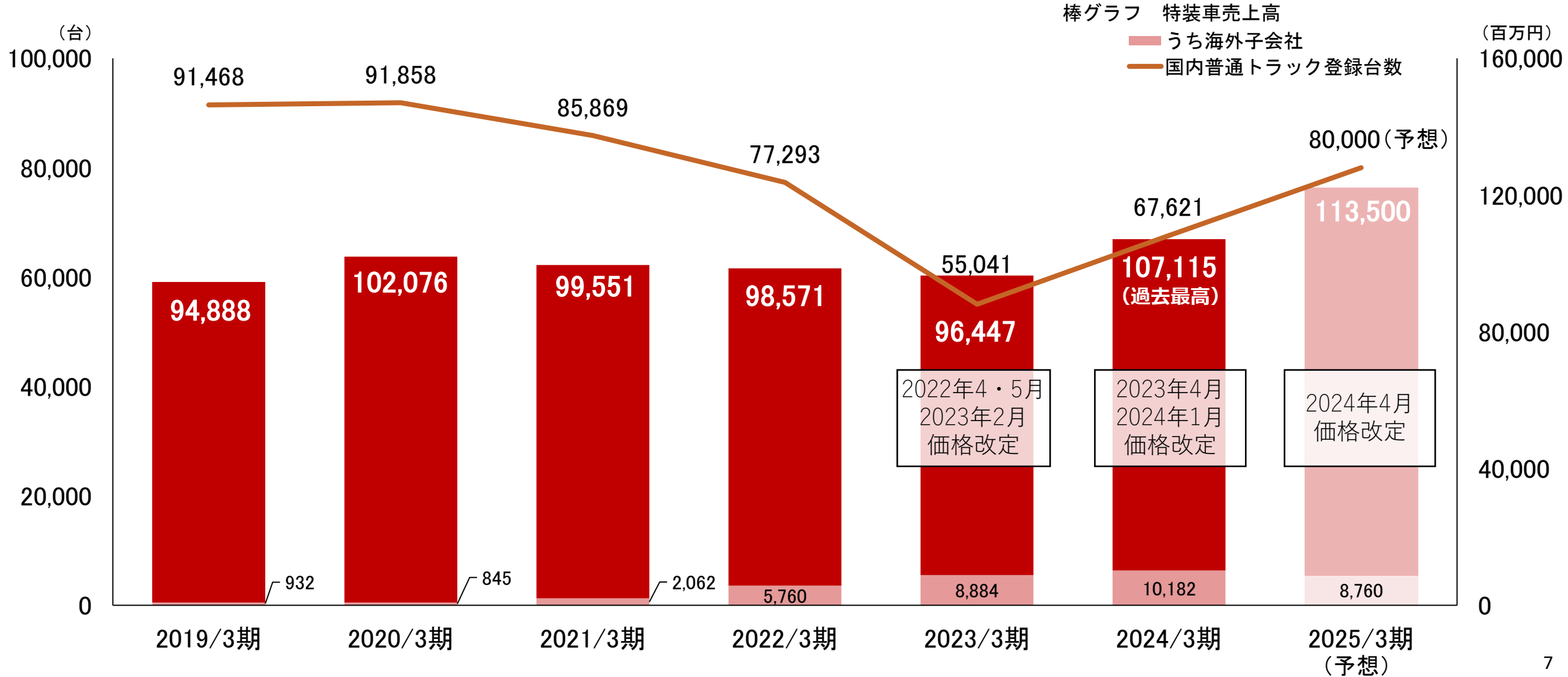
営業利益 (黒字化)

- ↑ 製品価格改定の効果

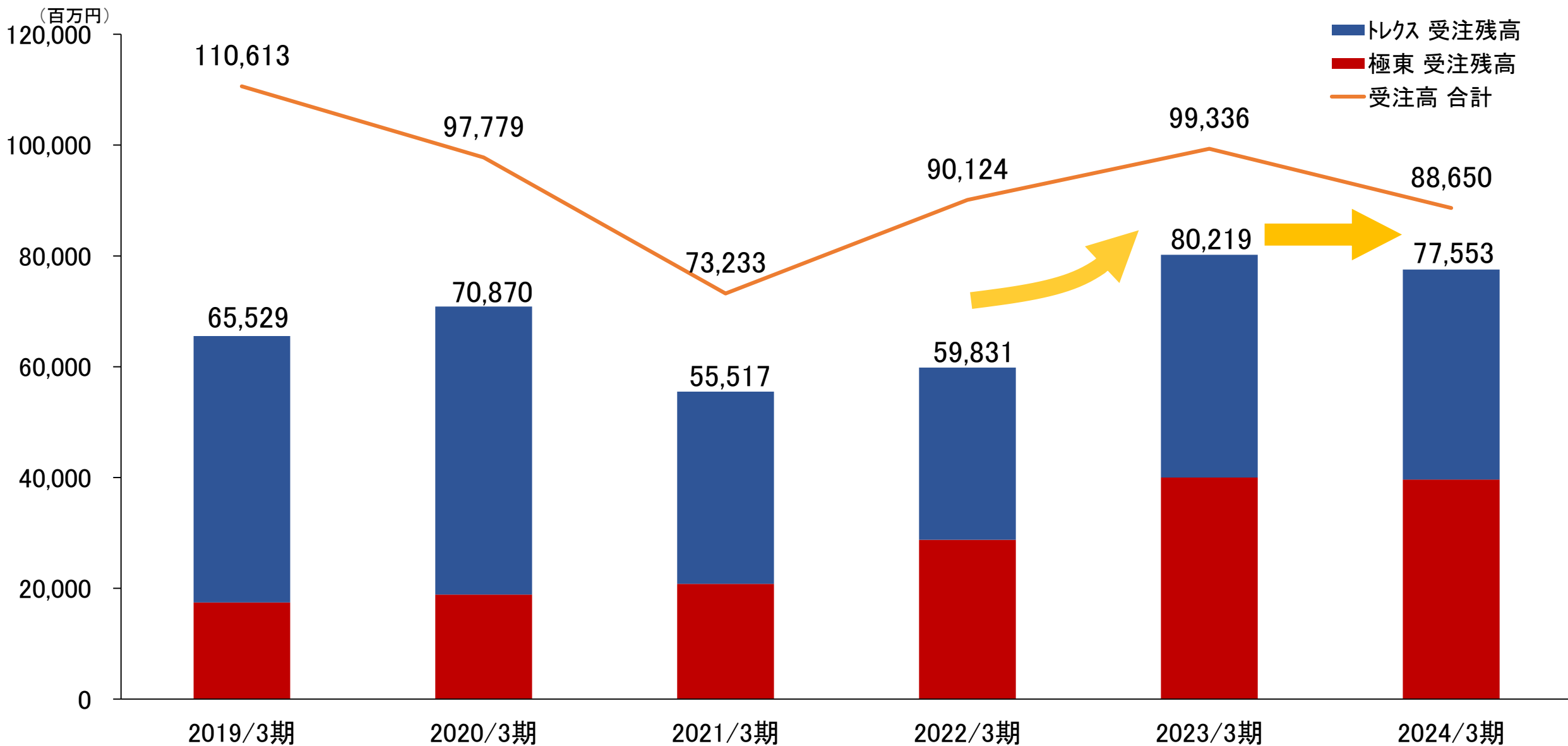


トラック市場と特装車事業の売上高推移

トラック市場はコロナ・半導体不足・シャシメーカーの認証不正等の影響で一時的に低迷するも、価格改定と海外事業強化により売上高を確保



特装車事業 受注高と受注残高





2024/3期 通期

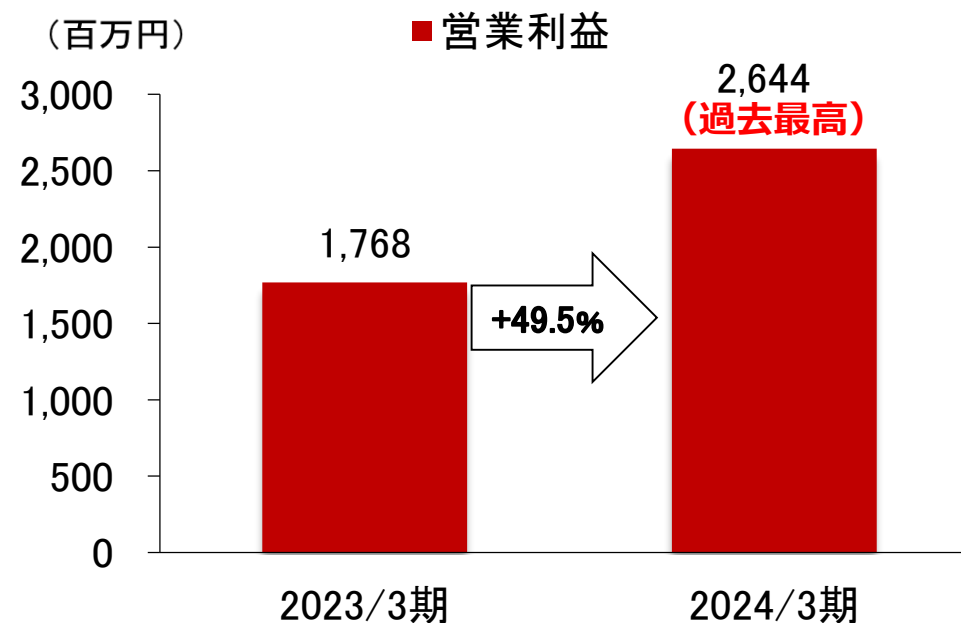
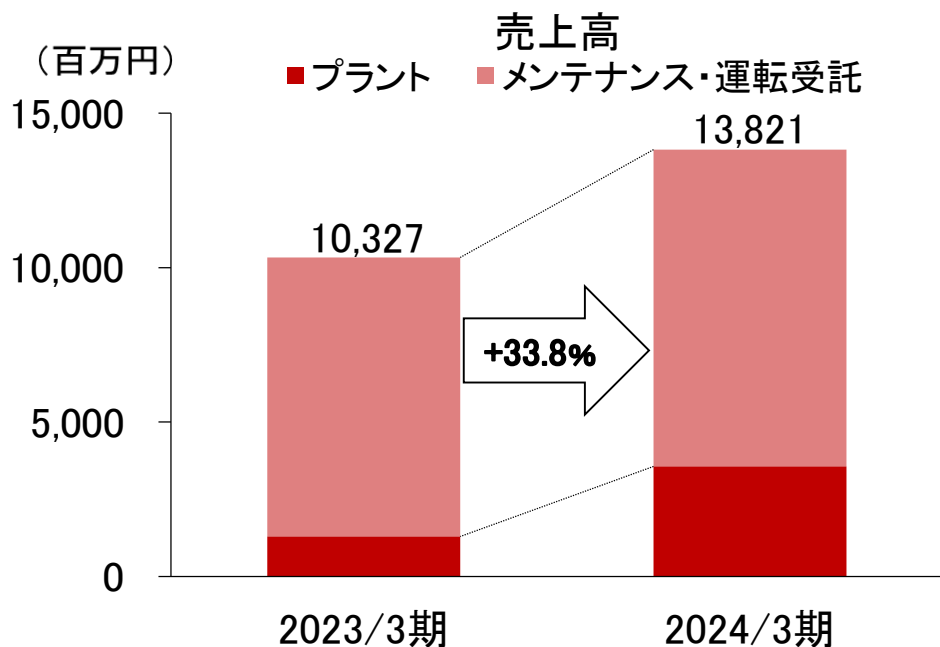
売上高 (+33.8%)

↗ プラント建設の増加(建設工事が順調)

↗ メンテナンス・運転受託も増加

営業利益 (+49.5%)

↗ 上記の売上増により大幅増益



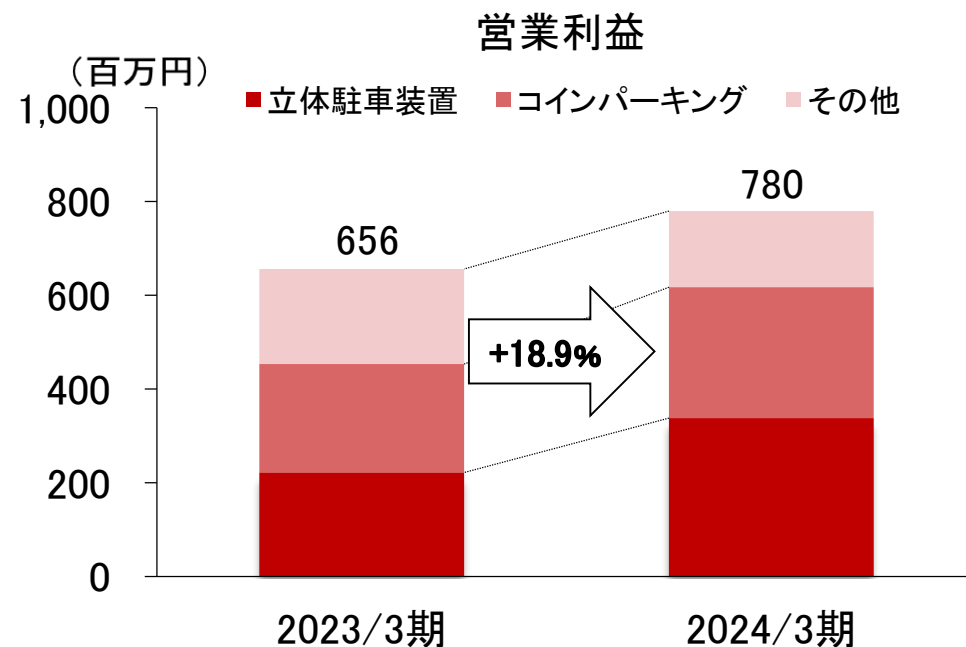
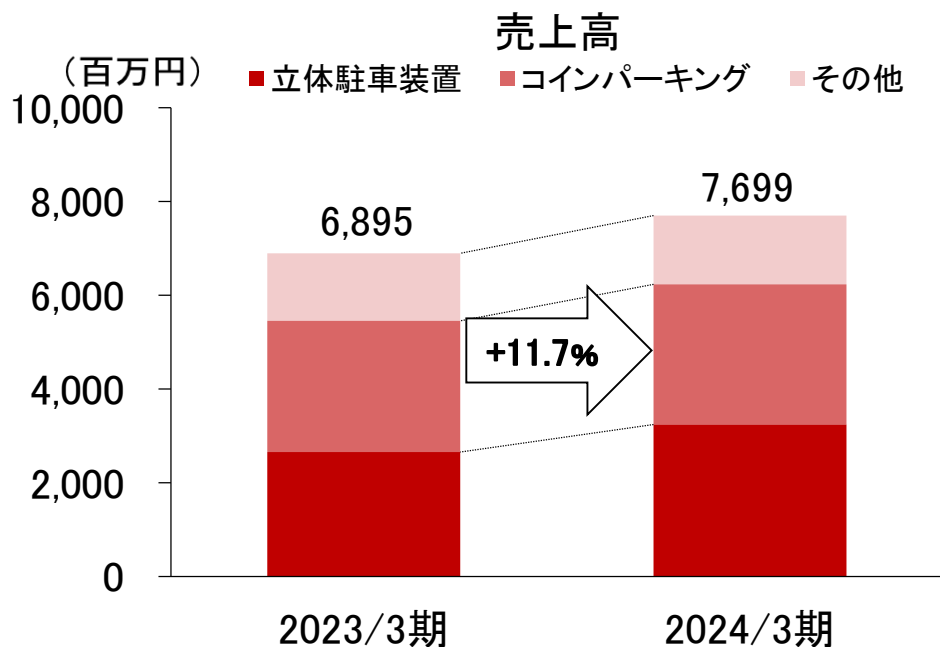


売上高 (+11.7%)

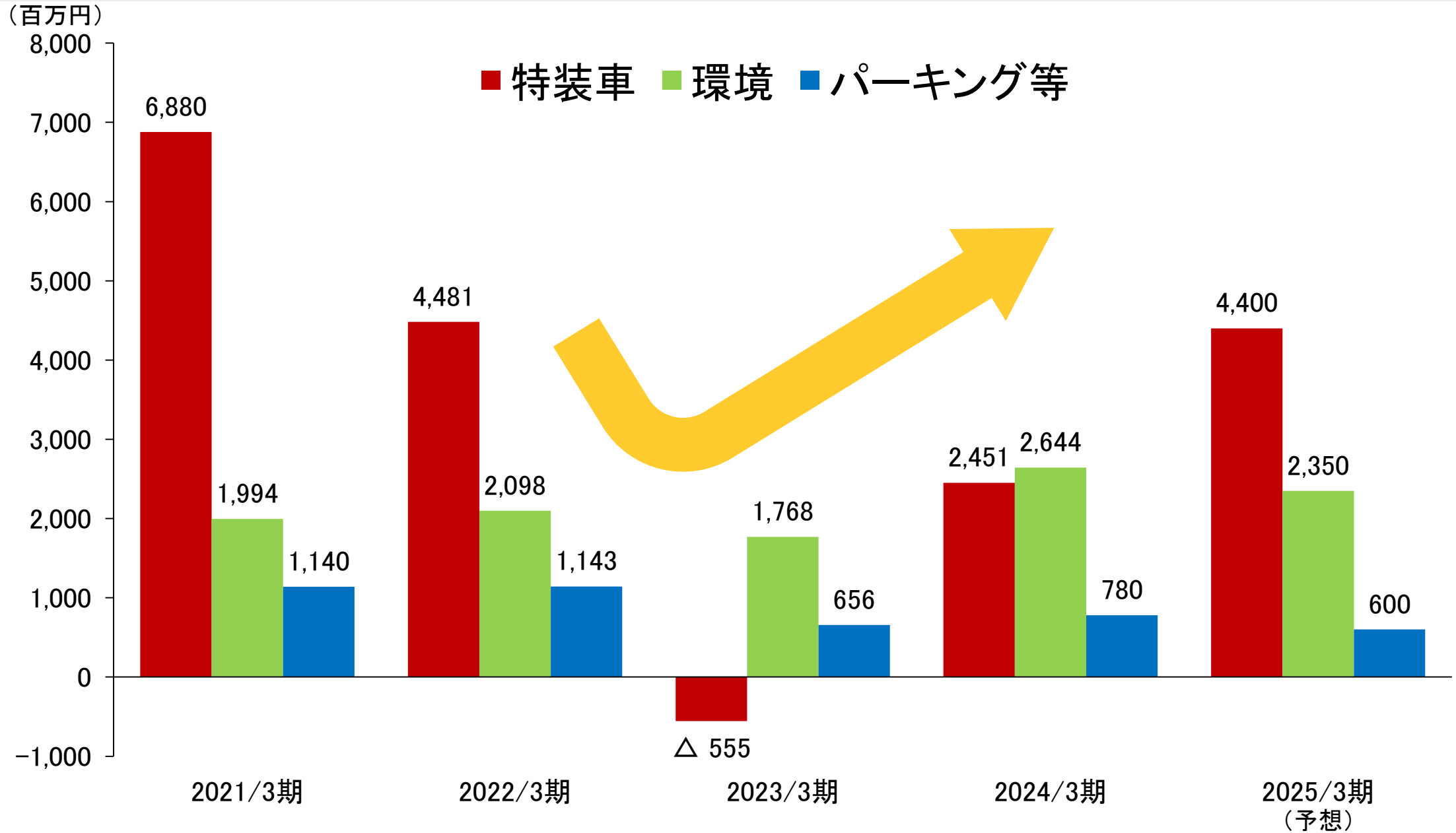
- ↑ 立体駐車装置は、新規受注及びメンテナンスの両方が増加
- ↑ コインパーキングは、稼働率の向上により増加

営業利益 (+18.9%)

- ↑ 立体駐車装置は、ストックビジネス(リニューアル・メンテナンス)が寄与し増加
- ↑ コインパーキングは、稼働率の向上により収益性もアップ



連結営業利益推移（セグメント別）

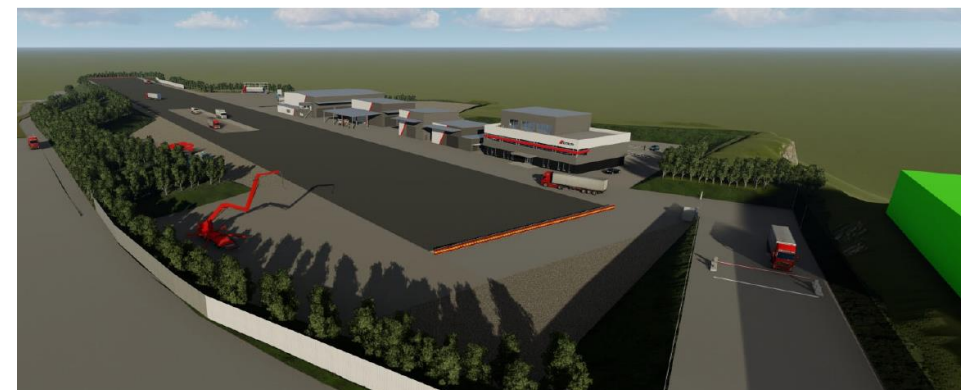
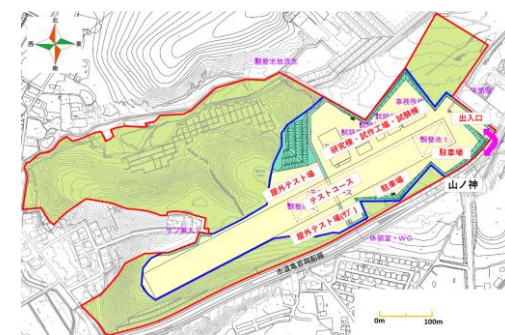


主な設備投資・M&A

分野	投資項目	投資内容	実施時期
特装	テクニカルセンターの建設	研究開発体制強化 新製品開発速度 約2倍に向上	2026年度 完成予定
特装	インドSATRAC（サトラック）社 チェーンナイ工場建設	生産能力強化 販路拡大によるシェアアップ	2025年度 完成予定
特装	日本トレクス 新工場建設	生産能力強化 約40%向上	2024年度 完成予定
特装	横浜工場 小型ダンプトラック自動化ライン	生産能力強化 約45%向上	2024年 7月竣工
特装	仙台サービスセンター リニューアルオープン	サービス体制強化	2024年 4月竣工
特装	姫路サービスセンター リニューアルオープン	サービス体制強化	2024年 1月竣工
特装	福岡工場 新工場棟・新事務所 竣工	生産能力強化 約30%向上	2023年 9月竣工
特装	オーストラリア販売代理店 グループ化	豪州及びオセアニア圏への 初拠点	2023年 7月実施
特装	九州特殊モータース グループ化	サービス体制強化	2023年 4月実施

テクニカルセンターの建設（2026年度完成予定）

- ◆ 新製品開発速度 約2倍に向上
- ◆ 社会的課題に対応する研究開発体制の強化/社会的課題への積極的対応
 - ・ 開発サイクルの短縮
 - ・ 軽量化・カーボンニュートラル
 - ・ 市場ニーズへの迅速な対応
 - ・ lot・AI・EV化への対応力向上
- ◆ 確固たる品質向上への取り組み
 - ・ トレーラの認証試験を行うテストコースの設置
 - ・ 規制への迅速な対応
- ◆ グループ間シナジーの強化



全景鳥瞰イメージ

日本トレクス 新工場建設（2024年度完成予定）

- ◆ 重要工程の自動化により生産能力 約40%向上 ※本社敷地内に建設中
- ◆ 生産工程における高所作業を減らし、安全な作業環境を構築
- ◆ より環境に配慮した工場へ

※部品塗装で発生する揮発性有機化合物を年間 約 6.3 t 低減
※太陽光発電の設置によりCO₂排出量を年間 約 3.2 t 削減



新工場イメージ

インドSATRAC社 チェンナイ工場建設（2025年度完成予定）

インドにおける旺盛な特装車需要により、2024年3月期に過去最高の売上となったグループ会社のSATRAC社は、生産能力の強化による受注の取り込みと販路拡大によるシェアアップ及び将来的な製品の輸出展開を目指し、タミル・ナドゥ州チェンナイ市近郊に新工場を建設中

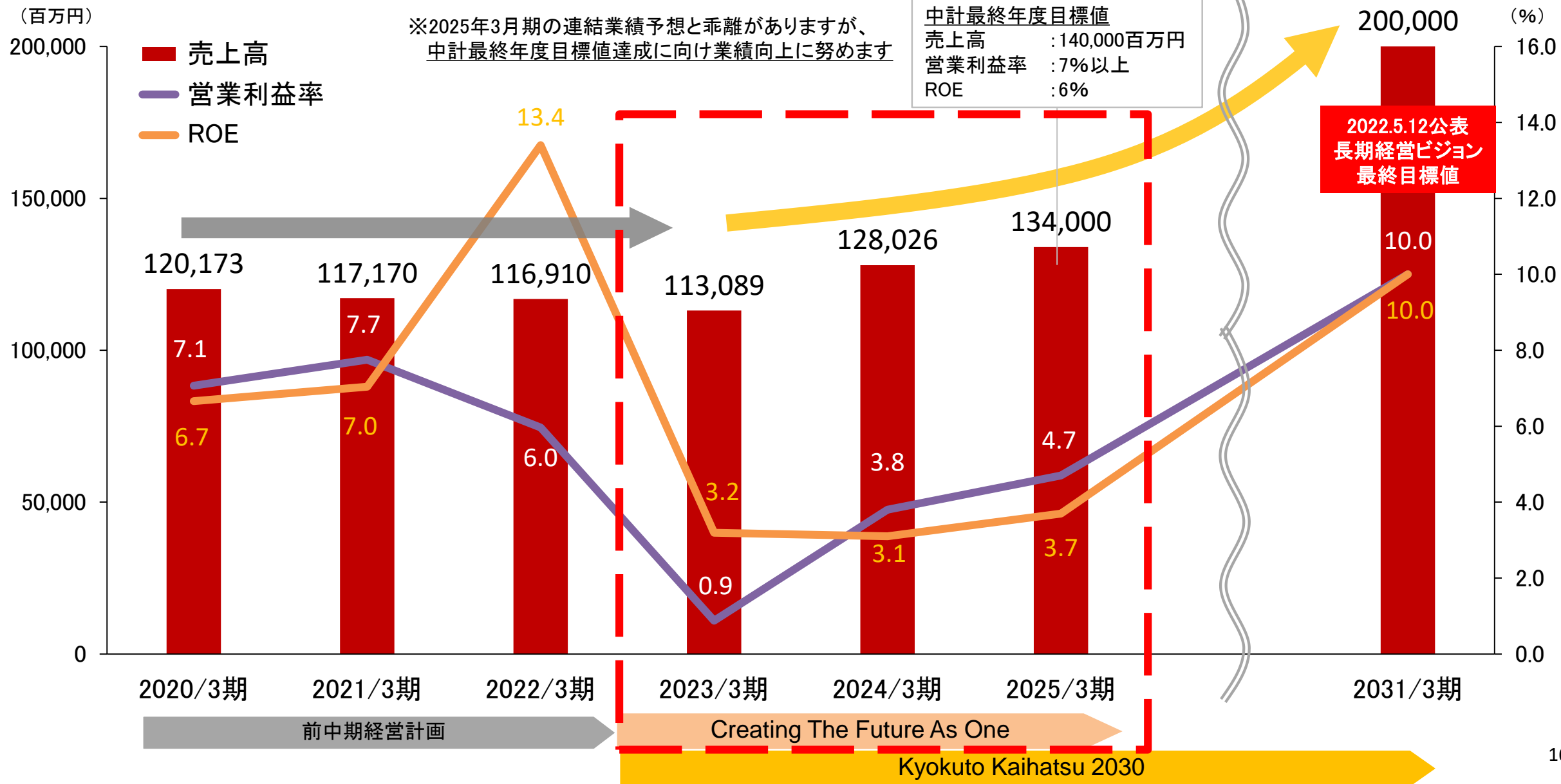


対処すべき課題



中期経営計画の進捗

売上高・営業利益率・ROE目標



中期経営計画の進捗（サステナビリティ） KYOKUTO

◆ CO2排出量削減率

三木工場ため池ソーラー

- ▶ 三木工場の電力コスト・CO2排出量の削減を目的とした通称「ため池ソーラー」が今年1月稼働開始
- ▶ ため池に浮かぶ太陽電池フロートで発電された電力は、約1kmの自営線で工場に送電され、全量、自家消費
- ▶ 三木工場の消費電力の約4割を再生可能エネルギーによりまかない、CO2排出削減効果は年間1,000トン
- ▶ 施設概要

太陽電池モジュール 約2,600kW
 パワーコンディショナー 約2,000kW

◆ リサイクル率

リサイクル率進捗 97.8% (2023年度)

目標 99.0%以上 (2024年度)

※2021年度における極東開発工業のリサイクル率（99.5%）と同等の水準を維持する

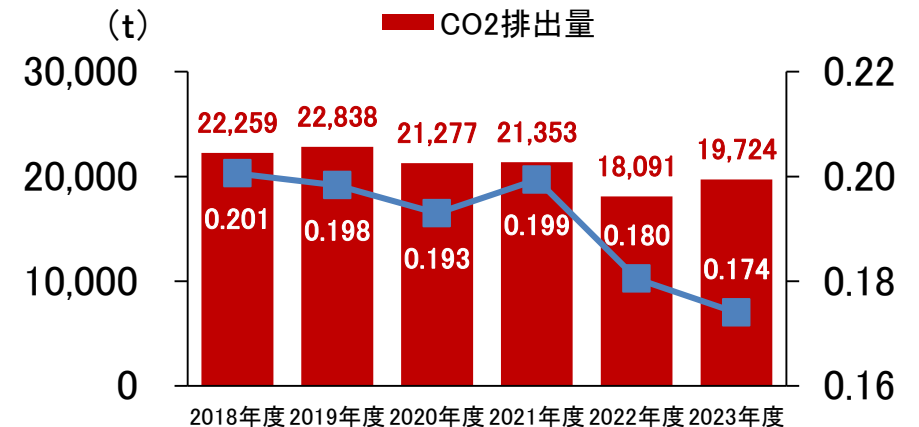
目標値と進捗

長期経営ビジョン	目標：△38%以上（2030年度） ※2013年度比の原単位
	進捗：△22.3%（2023年度）
中期経営計画	目標：△10%以上（2024年度） ※2020年度比の原単位
	進捗：△10.0%（2023年度）



ため池ソーラー（空撮）

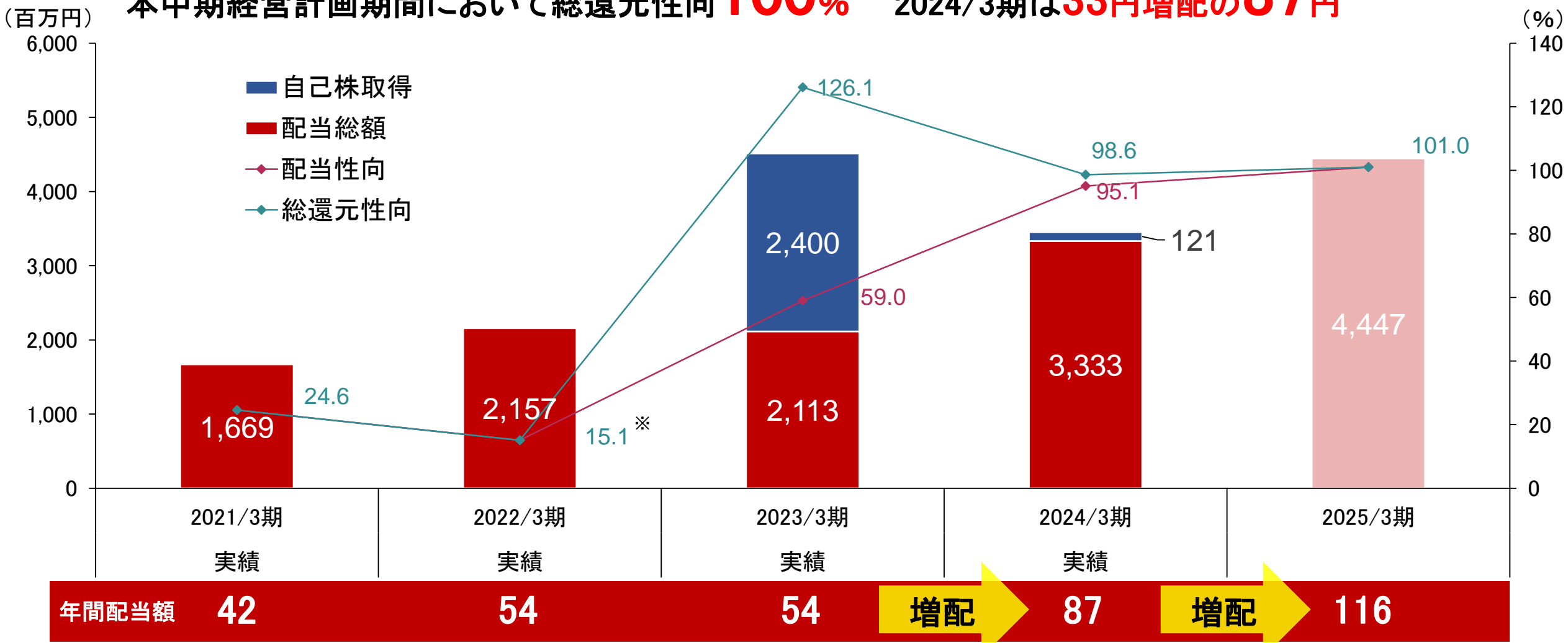
太陽電池フロート



株主還元強化

株主還元の方針：年間配当額 1株当たり下限54円 + 機動的な自己株式取得の実施

本中期経営計画期間において総還元性向 **100%** 2024/3期は**33円増配の87円**



※ 特別利益(土地売却益)除く: 42.2%

連結計算書類

招集通知 28～30ページ



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減
(資産の部)			
流動資産	93,474	91,405	△ 2,068
固定資産	64,681	78,992	14,311
資産合計	158,156	170,398	12,242
(負債の部)			
流動負債	29,838	34,433	4,594
固定負債	16,353	18,313	1,959
負債合計	46,192	52,746	6,554
(純資産の部)			
株主資本	107,139	108,533	1,393
その他の包括利益累計額	4,397	8,466	4,068
非支配株主持分	426	652	225
純資産合計	111,964	117,652	5,688
負債純資産合計	158,156	170,398	12,242

連結損益計算書

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減
売上高	113,089	128,026	14,937
売上原価	97,081	107,324	10,242
販売費及び一般管理費	15,015	15,877	861
営業利益	991	4,825	3,833
営業外収益	562	1,009	446
営業外費用	366	217	△ 149
経常利益	1,187	5,617	4,430
特別利益	4,282	361	△ 3,921
特別損失	218	650	431
税金等調整前当期純利益	5,251	5,328	77
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,580	3,501	△ 79

連結株主資本等変動計算書



(単位：百万円)

	純資産合計
2023年4月1日残高	111,964
当期変動額	
剰余金の配当	△2,144
親会社株主に帰属する当期純利益	3,501
自己株式の取得	△122
自己株式の処分	158
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	4,294
当期変動額合計	5,688
2024年3月31日残高	117,652

会社提案

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 取締役8名選任の件

株主提案

第3号議案 剰余金処分の件

当社取締役会は反対いたします

事前質問へのご回答

質 疑

会社提案 採決

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 取締役8名選任の件

株主提案 採決

第3号議案 剰余金処分の件

当社取締役会は反対いたします



ご協力ありがとうございました。

新任取締役ご紹介

市村 哲也



ご協力ありがとうございました。